

母港の縁日の境内——

北風が丈の短い浴衣から尻を

チラつかせながら跳ね回っていた。

懲らしめざるを得ない。

なんてカッコしてるんだ北風

ちよっと屈んだだけで

尻が全部出てしまうじゃないか。

見ろ。おかげでこんな……

ビクン、ビクン

うゝ……北風、心外……

こ……これは祭事の出で立ちであるぞ？
そんなヤマしいものでは……

こんな生意気な肉厚な尻して…
割り拵げなきや大事な所が
見えないくらいじゃないか。

あ…っ

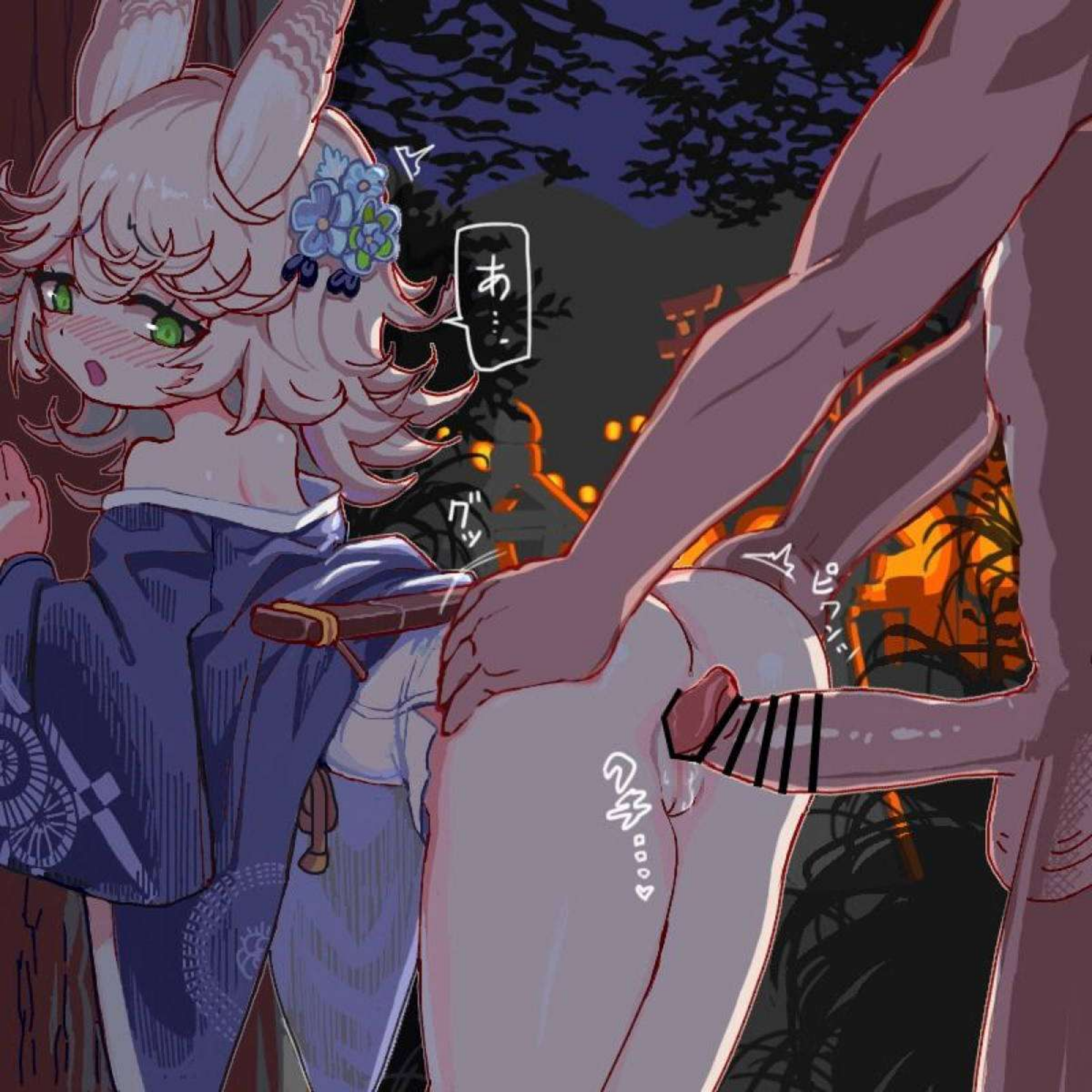
そっ…そんな言い方…!

北風だっっておなごなのだぞ?

おんん

むっ?それはすまなかった
…とても立派な尻だ。

むう…指揮官はいけずと
いうやつだな



あ...

グッ

おっけい

Good



!?

あッ!!!

あッ!!!
いきなり深!!!
いっつ

ア

くお……お……

お仕置きしようと思ったが……

は……は……





ん?!

!?

やめた...、北風...!

…産んでもらうぞ…

いの…っ!!

安産間違いなしの…っ!!

でっかいケツで…っ!!

ラッ

ん

っ

そ…っ!
そん…なっ!
あっ…うっ…!!
指揮かつ…!!

はあ…

☆

☆

